

西鳥の海に行こう

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

ESD
の要素持続可能な社会
づくりの
構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で
育みたい
能力/態度

【批判】批判的に考える力

【未来】未来像を予測して計画を立てる力

【多面】多面的、総合的に考える力

【伝達】コミュニケーションを行う力

【協力】他者と協力する態度

【関連】つながりを尊重する態度

【参加】進んで参加する態度

プログラム
目標

「海のゆりかご」といわれるアマモ場の観察により、生物の多様性やつながりを体感することができます。また、人々の生活と海との関係（相互性）に気づき、日常生活において自然環境に配慮しようとする意識を育てます。さらに、地域のアマモ場再生の取組に学校として参加することで、地域の一員であるという意識を育み、地域の方との交流を深めます。そして、地域の自然と人のつながり、地域の文化、自然への愛着などの価値観を身に付けることができます。

プログラム
概要

小学校3年生がする「西鳥の海」の発表会に参加した2年生が、学習の見通しを持ち、アマモの種まきをし、海に返すプログラムです。その間に、アマモ場周辺に集まるさまざまな生き物の生態を知ることができます。そして、海苔づくりやイカナゴの釘煮などの地域の食文化や地域の方との交流で学んだことを他学年や地域に発信すると共に、地域の方と協力してアマモ場再生に取り組めます。

学年 | 教科

小学校3年

社会

学習内容

「わたしたちの市のようす」

学習指導
要領との
関連

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
2年生 (1時間) 3年生の「西鳥の海」の発表を聞いて、アマモの種をもらおう		海の生き物、植物、アマモなどの発表を聞いて、「西鳥の海」に関心を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生（アマモについて学習、体験活動済み）の学習成果を聞いて、これからの学習の見通しを持たせる。 ・3年生が採種したアマモの種を受け継ぎ育て、自分たちも次の学年に受け継いでいくことを伝える。 <p>〔アマモの種（ここでは3年生が採取したもの）〕</p>
2年生 (2・3時間) アマモの種まきをしよう		アマモについて理解すると共に、海の環境について関心を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪湾の環境」を伝えるDVDを見て、気づいたことを話し合う。 ・地域の方の協力を得て、アマモの種を水槽栽培したり、海に播いたりする体験をさせる。 <p>〔DVD『あまものプカプカレター きれいな大阪湾を取り戻すために』（財団法人港湾空間高度化環境研究センター2008.3），1でもらったアマモの種、アマモ栽培キッド、水槽〕</p>
2年生 (4・5時間) 「チリメンモンスター」をさがそう		海の中には陸の生き物と同じように姿や形、大きさが違うさまざまな生き物がいることに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちりもんカード図鑑」をもとに、ちりめんじゃこの中の生き物を種類ごとに選別させる。 ・選別した生き物は台紙に張り付け、ファイルにする。 ・「チリメンモンスター」に関する情報は「きしわだ自然友の会」のHPで情報収集が可能。http://ksnc.web.fc2.com/chirimonFAQ/chirimon_FAQ.htm <p>〔図鑑、ちりめんじゃこ、ピンセット、シャーレ、虫眼鏡〕</p>

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
2年生 (6・7時間) 海藻おしばをしよう		ゲストティーチャーが準備した海藻をつかって、押し葉アートを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻は海の生き物のすみかやえさになり、海の環境浄化の役割をしていることに気づかせる。 ・海藻にはいろいろな色と形があることに気づかせる。 ・「海藻おしば」に関する情報は「海藻おしば協会」のHPで情報収取が可能。 http://kaisou048.jp/ 〔海藻、トレー、はさみ、はがき〕
2年生 (8・9時間) いかなごの釘煮、海苔、寒天づくりの話聞いて食文化を知ろう		海の食材を活用してできた料理について知り、郷土料理を試食する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がしてくれる「海苔づくりといかなご漁」の紙芝居を通して、生き物のつながりについて関心を持つ。 ・地域の特性を生かした料理が古くから受け継がれており、給食や家の食卓にあがることで、季節を感じさせる。 〔紙芝居、いかなごの釘煮、味付けのり〕
2年生 (10・11時間) 「あまものプカプカレター」を書こう		これまでの海の学習を振り返り、海に寄せる自分の思いを手紙にする。	海の環境を守っていくために自分たちにできることを手紙形式でまとめさせる。 〔ペットボトル、レター用紙、色鉛筆〕
2年生 (12・13間) アマモの植え付けをしよう		水槽栽培で発芽したアマモと「あまものプカプカレター」をダイバーさんに託し、ダイバーさんから海の環境についてお話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の海で育つアマモや「西鳥の海」の環境についてさらに深く関心を持たせる。 ・自分たちが3年生になった時に、アマモや海の中の様子はどのようになっているかを想像し、話し合わせる。 〔水槽、水中カメラ〕

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
3年生 (1・2時間)	アマモの花枝取りをしよう	海に入り、自分たちが育てたアマモの成長と生き物のつながりを観察しながら、花枝を集める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段は入ることができない海でも大潮の日には、海に入ってアマモを直接見ることができ、その中にたくさんの生き物が暮らしていることを直かに観察させる。 〔体操服、サンダル、タオル〕
3年生 (3・4時間)	アマモの種取りをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花枝から成熟した種子をピンセットで集め、アマモはイネ科の植物と似ていることを知る。 ・ 2年生に種を引き継ぐ時期が来るまで保存しておく。 ・ 大阪湾の環境について、地域の方の話聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪湾の環境について、地域の方の話聞き、アマモを育てる活動は海の環境保全に役立っていることを知る。 ・ 種を2年生に託すために、自分たちが伝えたいことはどんなことなのかを考えさせる。 〔ピンセット、トレー、保存容器〕
3年生 (5～7時間)	「西鳥の海」新聞を作ろう	これまで学んだ海の環境について一人ひとりがまとめたものを持ち寄り、グループごとに新聞に仕上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで学んだこと、新たに分かったこと、地域の方や友達に伝えたいことなどを確認し、グループに分かれて、みんなにわかりやすい新聞などの形にしていく。 ・ まとめた内容は2年生の前で発表することを伝える。 〔図鑑、資料〕

プログラム地域化メンバー、実証協力校等

実証協力校等： 阪南市立西鳥取小学校2年生（1クラス）